

広島大学法科大学院

小論文試験

2026年8月22日(土)

10:00～11:30

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて6ページです。
- 2 解答用紙は4枚、下書用紙は4枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外、マス枠外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、苦情の正義について述べたある著書からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（60点）

筆者のいう、「3つの抑圧の形態」（下線部【A】参照）とはどのようなものか。600字以上800字以内で説明しなさい（句読点も1字と数えるものとする）。

第2問（50点）

筆者は下線部【B】の中で「法の正統性と、オーラとしての正統性を見極め、どちらに与するのが問われているのである。」と述べている。本文でいう「オーラ」とは何かについて、400字以内で説明しなさい。

第3問（40点）

入社1年目のあなたの職場では、会社で長年貢献してきた部長の一人が複数の部下に対して頻繁に嫌味を言うため、あなたを含む多くの社員が毎日嫌な思いをしながら働いている。そこで、あなたはこれを是正するために会社に苦情を言おうと考えた。この苦情が実効性を持つ（是正の効果を実際に持つ）までにどのような問題が生じ、どうすればその問題に対処できると考えるか。筆者のいう「3つの抑圧の形態」を踏まえて論じなさい。